

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 12月 15日

事業所名 放課後等デイサービス ぽにいすまいる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	2	職員の配置数は適切である	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		階段には手すりがあります。	エレベーターは無いですが、現在ご利用の児童に関しては問題ありません。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			毎月の児童事業所職員のミーティングで毎月の振り返り、毎日の朝礼・終礼時に支援の確認と振り返りを行っています。加えて事業所単位でスタッフ間のミーティングを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			昨年度から、HP上だけでなく、抜粋版を通信に掲載し、配布しています。	

	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			コロナ禍で研修の機会は減っていますが、オンライン研修の受講や、事業所内研修を行い、資質の向上に努めています。	
	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	9	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○	保護者様の了解を得て、他機関のアセスメント結果を共有させていただき、支援に反映させています。	今後よりの確なアセスメントをとれるよう、スタッフの技術の向上に努めます。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				
適切な支援の提供	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				

関係	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	17	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	19	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○				
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○		現時点での受け入れはありません。
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			卒業した児童についての情報提供の実績はありませんが、移行がスムーズに行われるよう、情報共有など連携してしていけるように情報提供の準備をしていきます。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			コロナ禍で助言を直接受ける機会や研修の機会がありませんでした。保護者様を介して情報共有を行います。
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		現時点では交流の機会は設けていません。今後検討していきます。
	25	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		現時点でペアレントトレーニングは行っておりません。今後ニーズに応じて研修会等の実施を検討しています。
	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				

保護者への説明責任等	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		昨年度同様にコロナ禍の状況を鑑み行っておりません。今後、状況を見て開催していきます。
	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	33	個人情報に十分注意している	○				
	34	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		コロナウイルス感染状況の終息後に検討していきます。
	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				昨年度と同様に契約時の説明と、いつでも希望される方には閲覧可能であることの周知を行っています。加えて、今年度からは、一斉メールの配信を利用し、職員や保護者に緊急時の連絡をできるようにしました。

非常時等の対応	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○					
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			毎年研修を実施しています。		
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○			現在は身体拘束についてのマニュアルを作成しています。現時点での身体拘束を必要とする場面はありませんが、今後必要な場面に備えて話し合いを行い、組織的に決定した上で必要な児童に対しては計画に記載します。	
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				学校などに提出していただいている指示書の写しを提出していただき、アレルギー物質の摂取をしないように職員間で情報共有を行っている。	
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○					